

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

島根原発再稼働ゆるされない 誰もが安心安全の松江市へ 松江市議会11月定例会はじまる

11月26日松江市議会11月定例会がはじまりました。総額26億6300万円の一般会計補正予算案など81議案が提案されました。

補正予算案の主な内容は、市役所新庁舎建設事業費の建設資材価格の高騰分などがインフレスライド条項適用分4億2千万円の内今年度分の1億4千万円、今年夏の大雨や台風で被害を受けた公共土木施設の復旧工事に1億3千万円、宿泊税の導入に向けた理解促進等の推進事業費に824万円などです。



新しい条例3案と改正案

新しい条例として「松江市宿泊税条例」、「松江市伝統的建造物群保存地区保存条

例」と「松江市手話言語条例」が提案されています。その他、盛土規制法の改正に関わるもの、高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業廃止に伴うもの、幼保連携型認定こども園の基準の改正に関わる条例案などです。



本会議場で意見を述べるたけな市議

殿町19階建マンション 反対の陳情を採決

初日の冒頭、継続審査となっていた陳情「南殿町に建設中の19階建てタワーマンションについて」委員長報告及び、各会派が意見を述べ、採決が行われました。

たけなふみ議員が共産党市議団を代表して陳情を採決すべきと討論に立ちました。討論の内容を紹介します。

陳情者である地元町内会のみなさんはこのマンション建設への地元の意向の取りまとめに奮闘され、一軒一軒反対の署名を集められました。この陳情が継続審査となつて以降、市が事業者に高さを下げることを依頼したが、事業者は受け入れなかったことも分かりました。だからこそ、私たちは、陳情者の陳情要旨

にあるように、松江市議会として「松江城近くに高層マンションが建つことは松江の景観にふさわしくないと」意向を示すべきだと考えます。

この問題が明らかとなつて1年余り、景観審議会の在り方、景観計画は、松江城が国宝となつてからどうあるべきだったか、市民からの多くの指摘が行政を動かしてきました。市議会でも「松江市の歴史的・文化的な街並みと景観保全に関する決議」を全会一致で可決していることを考えると、多くの議員のみなさんが、この高層マンションが松江にふさわしいかどうかという点で、「ふさわしくない」との思いを同じくしていると思います。

市民の願いにこたえ、業者に対して再考を求めるためにも議会の思いを表すべくこの陳情を採決すべきです。

採決の結果24対3で不採決となりました。

議会は12月18日まで。一般質問は12月2日から4日まで行われます。共産党市議団の一般質問は3日目に Rowe れました。

舟木健治議員が「不登校の子どもと保護者のニーズに基づいた不登校支援について」

「たけなふみ市議が「マイナ保険証と高すぎる国保料」

「だれもが安心の公共交通」

「島根原発再稼働ゆるされない」の3項目質問しました。詳細は次号より報告します。



『住民福祉よくしたい』

市議予定候補 佐野みどり

市民と共に歩んで・・・

私は42年間松江赤十字病院で働いてきました。一番に『患者さんに寄り添い、優しい看護師でいることを忘れな

いようにしよう』と思っ

ています。 当時から人手不足による多忙さや夜

勤の多さは厳しい現状でした。やめたいなあ...と思うこともありましたが、患者さんから感謝の言葉をもらったり、なんて良い仕事なんだろう...と頑張ることができました。

そして労働組合活動を通して、厳しい現状は少しずつでも変えることができる。それには当事者の人たちの生の声を届けることが重要であることに確信を持ちました。

定年後、やれやれ...人生ゆつくり行こうと思っていました。が、さらに多忙に拍車がかかった悲鳴の様な現場の様子を聞くと、なんとかこの声を届け改善に繋げなければとの思いを強く持ちました。 医療に限らず、介護・保育・福祉などのケア労働の待遇改善は待たないです。 社会福祉予算は人を生かす為のお金と言われています。 お金の心配なく、必要な医療・福祉・教育が受けられる市政へ皆さんの声を聞き、届け、住民福祉の充実で、もっと住みやすい松江をめざし、私は全力をあげます。

